

| 演題名   | 企画者氏名        |
|---|--------------|
| 「生きる権利9」 現場からの安楽死再考 —それぞれの立場から—   | 細田 満和子       |
| 出生前検査の意思決定支援において、看護職はなにを考えているのか？感じているのか？<br>—そして、このテーマを取り上げることの障壁について—  | 須坂 洋子        |
| 血友病周辺女性の経験  | 山田 富秋        |
| 外国人介護士の力を活かすためには<br>—トランスナショナルな移動とキャリア形成の課題を探る—   | 小川 玲子        |
| 現象学的研究成果を医療現場に実装化するための「越境」をさぐる  | 坂井 志織        |
| インドネシア人、ベトナム人、日本人ケア専門家の「越境」経験<br>—「移住と開発」の視点から—   | 比留間 洋一       |
| 外国人看護師の日本における活躍に向けて、必要な支援と今後の課題   | 朝戸サルヴァドール 千鶴 |
| パンデミック等の感染症流行時、病院・施設の専門職は患者/利用者及び家族にどう対応すべきか  | 福永 憲子        |
| 施設介護と在宅介護の越境<br>—外国人ケアワーカーが施設と在宅介護それぞれの現場で働くことの意義—  | 福井 淳一        |
| 看護の「越境」をさぐる<br>—現象学的視点から試みる越境のバリエーション—  | 田代 幸子        |
| 気候変動時代における公衆衛生<br>—大阪大学ユネスコチェアからの問題提起—  | 山中 浩司        |
| ナラティブなアプローチで共支援的に変容する臨床／医療の場<br>—これまでの専門知（客観）による「対人治療・ケア・支援モデル」から、内外の支援的多声を<br>メッシュする経験知（主観）による「支援的メッシュワークモデル」への変容— | 田代 順         |
| 外国人看護師・介護士の日本語習得をめぐる研究者と実践者の越境  | 米野 みちよ       |